

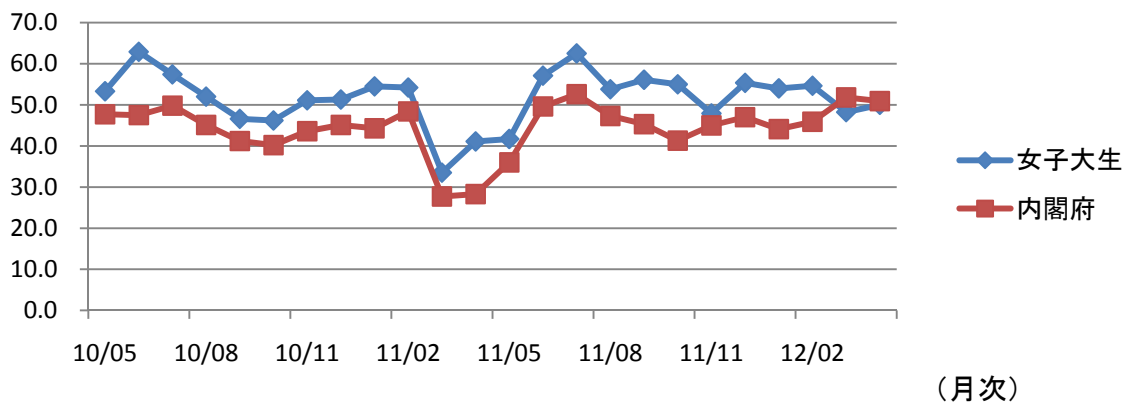
国内は現状維持、欧州を不安視

4月の女子大生景気ウォッチャー調査は、景気の現状判断D I（方向）が50.0と1.8ポイントの上昇を見せた。一方で先行きD Iは51.5と、2.1ポイント悪化という結果となった。

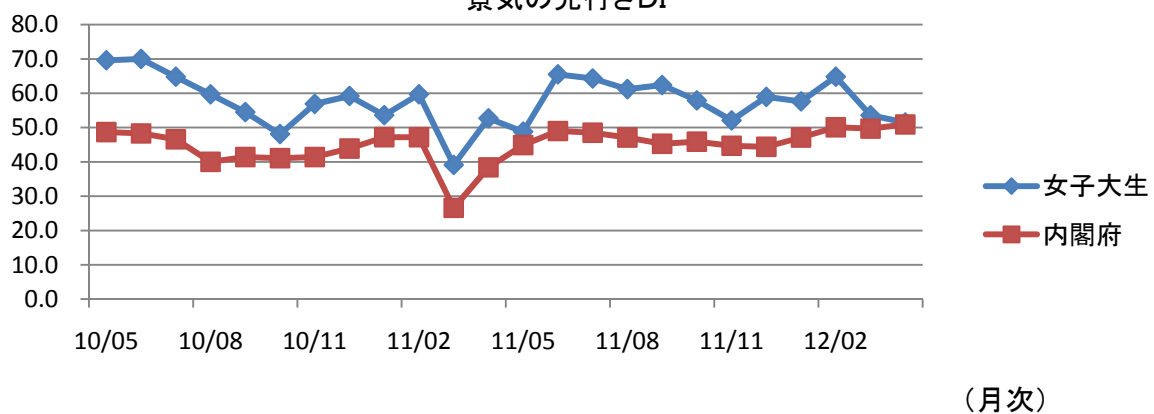
フランス大統領の交代があったためか「欧州が不安定になるのでは」という意見が多く挙がり、「ギリシャの金融不安が高まると思う」という意見もあった。国内に関する意見としては「目立った政策がない」「政府に期待できない」といった理由から景気は現状維持だろうという意見が多くみられた。

（跡見学園女子大学マネジメント学部教授 山澤成康）

景気の現状DI



景気の先行きDI



景気判断DIは、①良い1点②やや良い0.75点③どちらともいえない0.5点④やや悪い0.25点⑤悪い0点として、それぞれの構成比を乗じて計算する。全員が良いと答えた場合は100、全員が悪いと答えた場合は0となる。